

令和6年度 研修講座ライブラリー



YouTubeで視聴いただけます。 ※無料（要申込）

長野県生涯学習推進センター



ホームページ
「研修講座貸出しに関するページ」はこちら→

※講師の所属団体の表記は、令和6年度のものを使用しております

貸出 番号	講座名	おすすめのポイント
R6-1	発達障害のある人は、どのような歩みをして大人になっていくのか～様々なライフステージにわたる支援を考える～ 信州大学 医学部 こどものこころの発達医学教室 教授 本田 秀夫	発達障害のある人に対し、成人期までの様々なライフステージでどのような育てかたや支援をしていくことが望ましいのか、一人一人の個性を大切にしながら支援する方法を学びました。
R6-2	子どものサインが見えますか？ ～子どもに安心を感じてもらえる大人になるために～ 信州大学 学術研究院 教育学系 准教授 茅野 理恵	様々な要因により苦戦する子どもたちの理解を深め、子どもにSOSを出してもらえる大人になるために出来ることを、参加者のみなさんと一緒に考えました。
R6-3	自治の土壌を耕す公民館とは ～見つめ直すコミュニティとその支援～ 東京大学 大学院 教育学研究科 教授 牧野 篤	公民館が取り組んできた、学びを柱とする総合的な地域づくりの成果や社会教育士に期待される役割、社会福祉や学校との連携等を踏まえ、地域コミュニティでの日常生活や現代に即した「自治」のあり方などについて考えました。
R6-4	地域社会のつくり方 ～飯田市公民館が育んできたソーシャル・キャピタルとは～ 日本女子大学 人間社会学部 教育学科 准教授 荻野 亮吾	地域社会の土台となる、住民同士のつながりや信頼関係等のソーシャル・キャピタル（社会関係資本）を社会教育・公民館がどう構築してきたのか、研究者と飯田市の公民館で実際に携わった市民や職員を交えて同市の事例から学びました。
R6-5	身近な地域で命を守る防災の取り組み 松本大学 名誉教授（松本大学地域防災科学研究所前所長） 木村 晴壽	能登半島地震から改めて防災・危機管理の備えが必要であることを認識し、地域コミュニティでの安否確認や災害時の支え合いをどう進めていけばいいのか、松本市島高松町会の事例から学びました
R6-6	誰もがゆるやかにつながる共生社会づくり ～公民館と社協が連携した重層的支援体制を考える～ 信州大学 経法学部 応用経済学科 教授 井上 信宏	「地域共生社会」の構築に向け、社会教育と地域福祉の連携した地域づくり、具体的には公民館と社会福祉協議会との連携による「重層的支援体制」について考え合いました。
R6-7	公民館はどう自治を育んできたか ～寺中構想の精神を引き継ぐ信州の公民館～ 名古屋大学 名誉教授 松田 武雄	寺中構想の精神を現在に引き継ぐ信州の公民館の特色である「公民館専門部制度」に焦点を当て、公民館がどのように自治の担い手を育み、どのように自治の基盤を構築してきたのかを学びました。
R6-8	広げる! 深める! 地域学校協働活動を核とした地域づくり 檜葉町地域学校協働センター長 猿渡 智衛	各地域でコミュニティスクールによる地域学校協働活動が行われている中、さらに充実させるためにはどうしたらよいかを講義やグループワークを通して考えました。
R6-9	SDG s 地域で実践するためのヒント集 信州大学 農学部 佐藤 利春	SDGを授業の単元との絡め方が難しいと感じる場面が多い中で、本講座では具体的な事例紹介やゲームを通して実践とのつなげ方を学ぶとともに、県内で活動をしている方とつながる機会を作りました。

☆視聴は無料ですが、視聴の際にかかる通信費用等は受講者の負担となります